

2010年度

科目名	日本文学講読IV		
担当教員	高橋 圭一		
配当	日文1(2111)	コード	11070
開期	前期	講時	月曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	元禄の流行作家井原西鶴を読む。		
目的と概要	近世文学きってのストーリー・テラー井原西鶴の作品を読む。西鶴の生涯と彼が生きた時代をざっと観たのち、四～五編を細かな語釈・解説を加えつつ熟読する。		
成績評価法	学期末の試験(論述式)80%、平常点20%。		
テキスト	プリントを配布する。		
参考書	講義中に随時紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	西鶴の文章は決してやさしくはない。現代語訳はあてにならない。講義中、よく聞いておくこと。前期と後期とでは読む作品を一部入れ替える。		
講義計画			
<p>第1回 西鶴の生涯、西鶴と大坂。  第2回 続き。西鶴と俳諧。  第3回 続き。代表作品の解題。  第4回 『好色一代男』巻五の一「後は様つけて呼ぶ」。最高の遊女吉野の魅力とは？  第5回 続き。  第6回 『万の文反故』巻二の三「京にも思ふやう成事なし」。結婚狂想曲。結婚を繰り返したその果ては？  第7回 続き。  第8回 『世間胸算用』巻二の一「銀一匁の講中」。  第9回 続き 誤って人に銀を貸してしまった商人は、どうやってその銀を取り戻したか。  第10回 『武道伝来記』巻三の一「人差指が三百石が物」。天晴れ若衆。比べて敵の情けなさ。  第11回 続き。  第12回 続き。  第13回 『日本永代蔵』巻一の二「二代目に破る扇の風」。金を貯めるは難し、使うは易し。  第14回 続き。  第15回 今回の講義のまとめ。</p>			